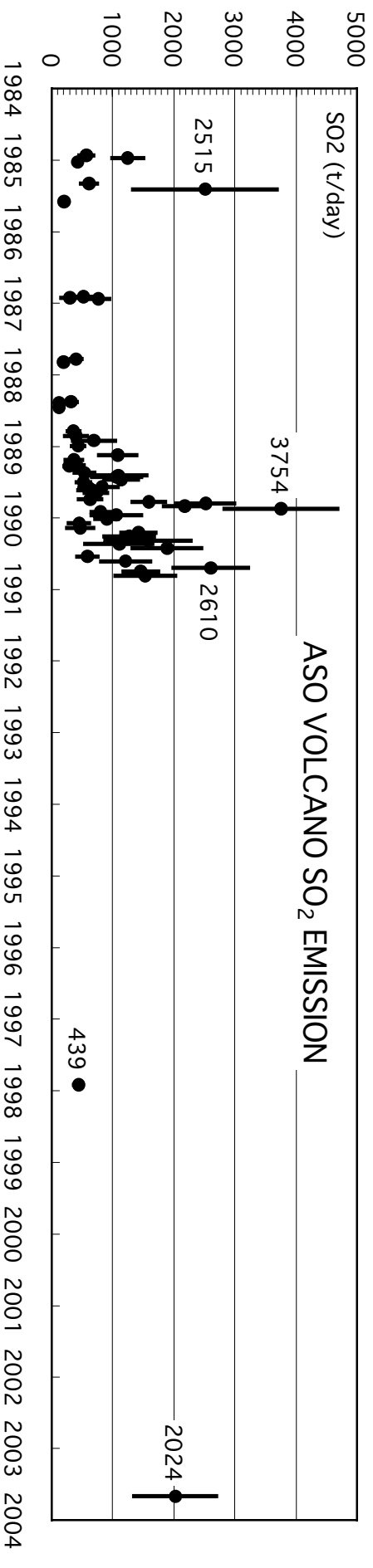


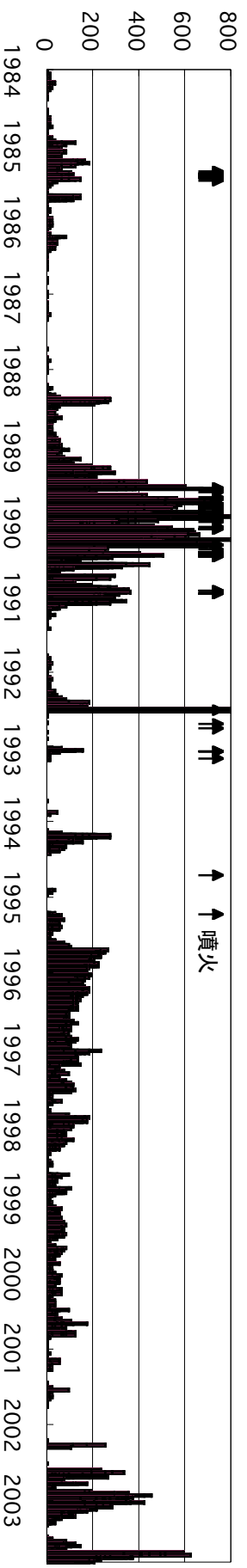
阿蘇火山の二酸化硫黄放出量

九州大学地震火山観測研究センター



火山性孤立型微動日別回数

気象庁資料



阿蘇火山の二酸化硫黄放出量は、火山活動と密接に関連して変化している。噴火期間中は 2000 ton/day を超えるが、静穏期には 500 ton/day 以下である。

1991 年からしばらくは測定を実施していなかったが、まだ未解析のデータもあり、現在処理中である。測定には COSPEC V(1990 年 2 月以前は COSPEC IV)を使用し、トラバース法を用いている。風速は現地測定値を用いたが、1997 年以降は、阿蘇山測候所の観測値を用いた。

2003 年 9 月 3 日の放出量は 2024±667 ton/day であった。阿蘇火山は 1989 年当時と同等の活動レベルにあると言える。